
尼崎市外国人生活実態アンケート調査

報告書 概要版

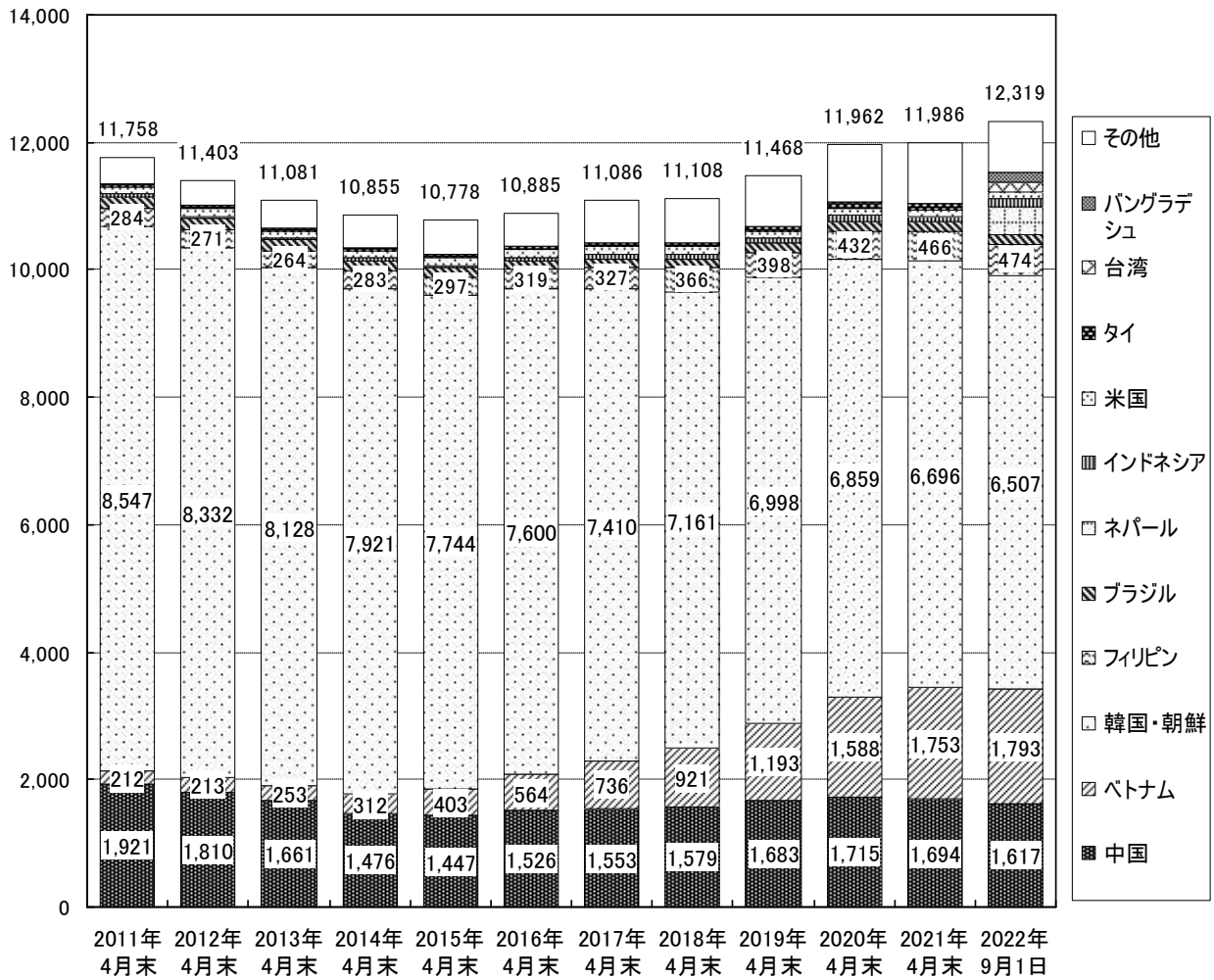
2023年(令和5年)3月

尼 崎 市

尼崎市における外国人市民の状況

- 尼崎市における外国人市民の人口は、2022年(令和4年)9月現在12,319人で、2015年(平成27年)から増加を続けています。
- 国籍・地域別には、歴史的経緯から朝鮮半島出身者とその子孫が多く、2022年(令和4年)9月現在も外国人市民総数の52.8%を韓国・朝鮮籍の人が占めていますが、その数は年々減少し、高齢化が進んでいます。
- その一方で、ベトナム、フィリピン、ネパール、タイ、インドネシア、バングラデシュなど東南アジアや南アジアの人が急増しており、国籍や在留資格が多様化する傾向にあります。

尼崎市の外国人市民数の推移



アンケート調査の結果

1 調査方法と回収状況

調査目的	尼崎市内に在住する外国人市民の生活実態に関する調査・分析を行い、課題の抽出及び今後の事業展開の基礎資料とする。
調査対象	尼崎市内に在住する外国人市民のうち、2022年(令和4年)8月31日現在18歳以上の人 11,209人(悉皆)
調査方法	○18歳以上の外国人市民を含む世帯宛て(複数名おられる場合は宛名ラベルに連名で記載)に調査目的とアンケート回答フォームのURL、二次元バーコード等を記載した調査依頼文を郵送(居住地域別に用紙の色を変えて送付)。 ○回答方法は、 ①インターネット上のアンケート回答フォームによる回答、 ②紙の調査票による回答、 ③職員による聞き取り、のいずれかを選択。 ○アンケート回答フォームは、やさしい日本語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、中国語(簡体字)、英語、ネパール語、ポルトガル語、ベンガル語、インドネシア語、スペイン語の10言語を用意。
調査期間	2022年(令和4年)10月1日～11月30日
回答状況	依頼文配布数 9,071件(11,209人) 依頼分不達数 160件(171人) 依頼文到達数 8,911件(11,038人) 有効回答数 1,059件 有効回答率 11.9%(9.6%)

※回答方法は、インターネット上のアンケート回答フォームによる回答としており、一部、本人の希望により、紙の調査票による回答や職員による聞き取りを実施しました。

※各設問の母数n(Number of caseの略)は、設問に対する有効回答者数を意味します。

※各選択肢の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。

※グラフ中の数字は、特に断り書きのない限りすべて構成比を意味し、単位は%です。

※属性別クロス集計のグラフ・集計表には、属性が無回答であったサンプルの集計結果を割愛しています。このため、個々の属性の件数(n)を合計しても集計対象全体の件数(n)と一致しない場合があります。また、クロス集計元が複数回答設問である場合は、個々の属性の件数(n)を合計すると集計対象全体の件数(n)を上回る場合があります。

■主要属性別回答状況

	18歳以上人口	回答者数	捕捉率
中央地区	1,831	252	13.8%
小田地区	1,581	105	6.6%
大庄地区	1,813	118	6.5%
立花地区	2,190	184	8.4%
武庫地区	1,750	137	7.8%
園田地区	2,044	240	11.7%
無回答		23	
合計	11,209	1,059	9.4%

	18歳以上人口	回答者数	捕捉率
特別永住者	5,419	289	5.3%
永住者	1,883	215	11.4%
技能実習	875	71	8.1%
技術・人文知識・国際業務	789	163	20.7%
留学	621	74	11.9%
日本人の配偶者等	361	88	24.4%
家族滞在	312	25	8.0%
特定活動	225	13	5.8%
定住者	217	22	10.1%
特定技能	181	53	29.3%
技能	95	7	7.4%
永住者の配偶者等	69	16	23.2%
その他	162	20	12.3%
無回答		3	
合計	11,209	1,059	9.4%

	18歳以上人口	回答者数	捕捉率
男	5,669	524	9.2%
女	5,540	518	9.4%
答えない		13	
無回答		4	
合計	11,209	1,059	9.4%

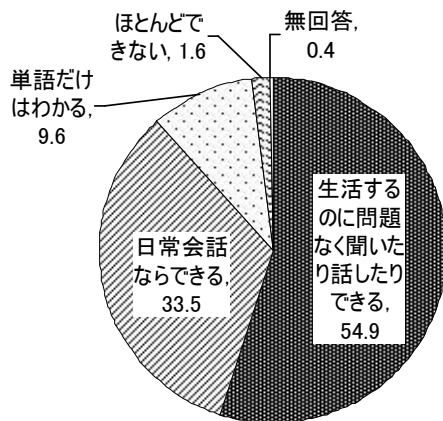
	18歳以上人口	回答者数	捕捉率
韓国・朝鮮	5,937	345	5.8%
ベトナム	1,636	177	10.8%
中国	1,396	198	14.2%
フィリピン	423	63	14.9%
ネパール	390	23	5.9%
バングラデシュ	155	7	4.5%
ブラジル	148	30	20.3%
台湾	142	46	32.4%
インドネシア	139	38	27.3%
アメリカ	109	27	24.8%
タイ	109	18	16.5%
カンボジア	87	6	6.9%
ミャンマー	82	4	4.9%
インド	64	6	9.4%
ペルー	51	9	17.6%
イギリス	32	5	15.6%
スリランカ	29	3	10.3%
カナダ	23	4	17.4%
イタリア	20	0	0.0%
オーストラリア	18	3	16.7%
その他	219	51	23.3%
無回答		1	
合計	11,209	1,059	9.4%

2 回答者とその家族について

① 日本語能力

問5-3 あなたはどのくらい日本語ができますか

<聞く・話す>



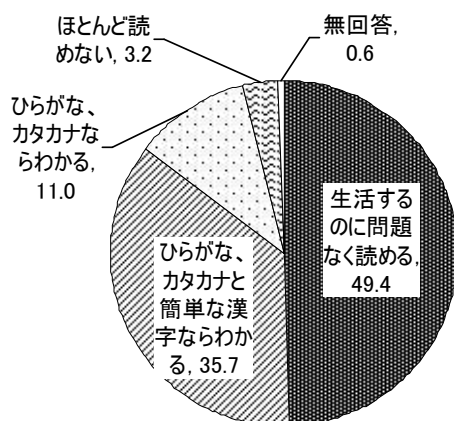
特別永住者以外の回答者(n=770)

○「生活するのに問題なく聞いたり話したりできる」が54.9%と最も多く、次いで「日常会話ならできる」が33.5%、「単語だけはわかる」が9.6%、「ほとんどできない」が1.6%となっています。

○後述の日本語学習の経験別にみても、「生活するのに問題なく聞いたり話したりできる」「日常会話ならできる」と答えた人は来日前に日本語を勉強した人の90.0%となっています。

○「生活するのに問題なく聞いたり話したりできる」は韓国・朝鮮や台湾、中国、ブラジル、タイなど、また永住者や技術・人文知識・国際業務の人で多く、「日常会話ならできる」はネパールやベトナム、特定技能や技能実習、留学の人で多くみられます。

<読む>



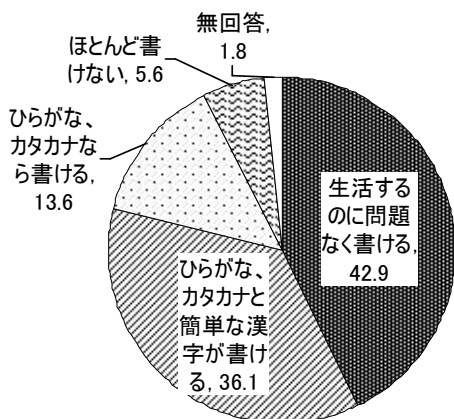
特別永住者以外の回答者(n=770)

○「生活するのに問題なく読める」が49.4%と最も多く、次いで「ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる」が35.7%、「ひらがな、カタカナならわかる」が11.0%、「ほとんど読めない」が3.2%となっています。

○日本語学習の経験別にみると、「生活するのに問題なく読める」「ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる」と答えた人は来日前に日本語を勉強した人の90.1%を占める一方、日本語は勉強していないという人では73.7%と差がみられます。

○「生活するのに問題なく読める」は台湾や中国、韓国・朝鮮、タイなど、また技術・人文知識・国際業務や永住者の人で多く、「ひらがな、カタカナと簡単な漢字ならわかる」はネパールやベトナム、ブラジル、フィリピン、特定技能や技能実習、留学の人で多くみられます。

<書く>



(n=770)

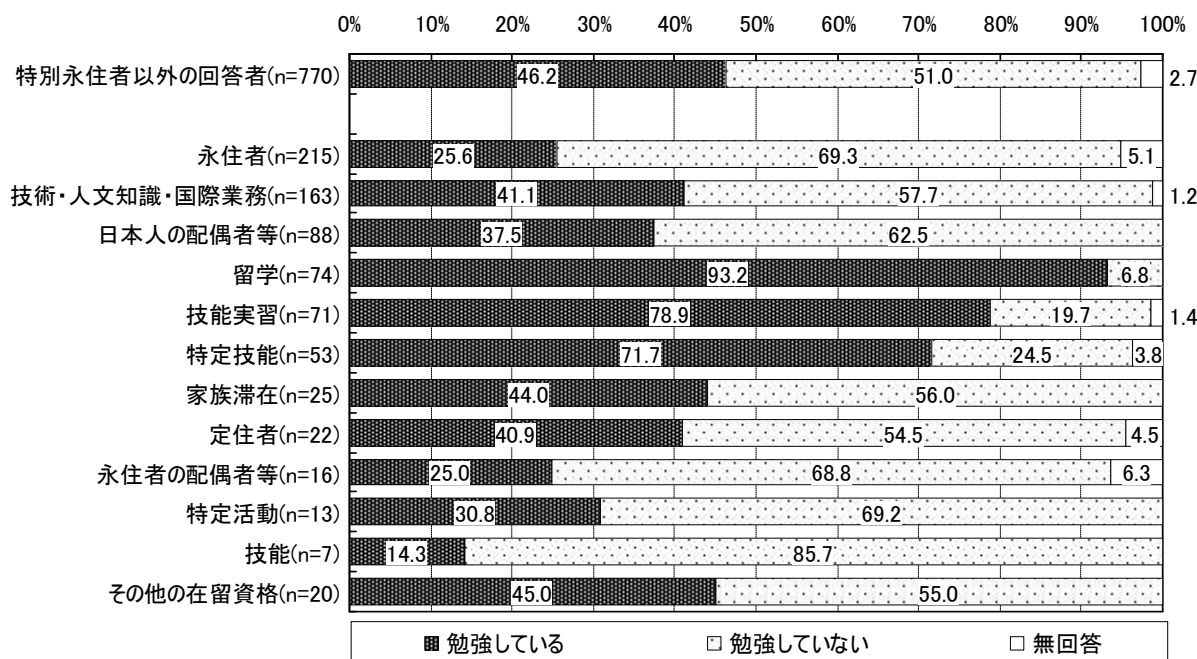
○「生活するのに問題なく書ける」が42.9%、次いで「ひらがな、カタカナと簡単な漢字が書ける」が36.1%、「ひらがな、カタカナなら書ける」が13.6%、「ほとんど書けない」が5.6%となっています。

○日本語学習の経験別にみると、「生活するのに問題なく書ける」「ひらがな、カタカナと簡単な漢字が書ける」と答えた人は来日前に日本語を勉強した人の85.8%を占める一方、日本語は勉強していないという人では63.4%と差がみられます。

○「生活するのに問題なく書ける」は台湾や中国、韓国・朝鮮など、また技術・人文知識・国際業務や永住者の人で多く、「ひらがな、カタカナと簡単な漢字が書ける」はベトナムやネパール、特定技能や、技能実習、留学の人で多くみられます。

② 日本語学習の状況

問5-5 今、日本語を勉強していますか

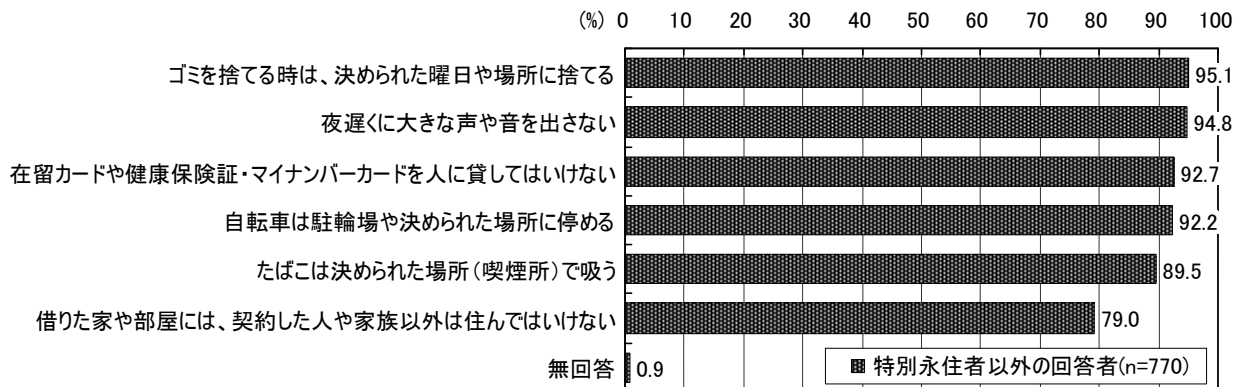


○「勉強していない」が51.0%、「勉強している」人が46.2%となっています。

○在留資格別にみると、留学や技能実習、特定技能の人は71.7~93.2%が来日後も日本語を学習しています。

③ 日本のルールやマナーで知っているもの

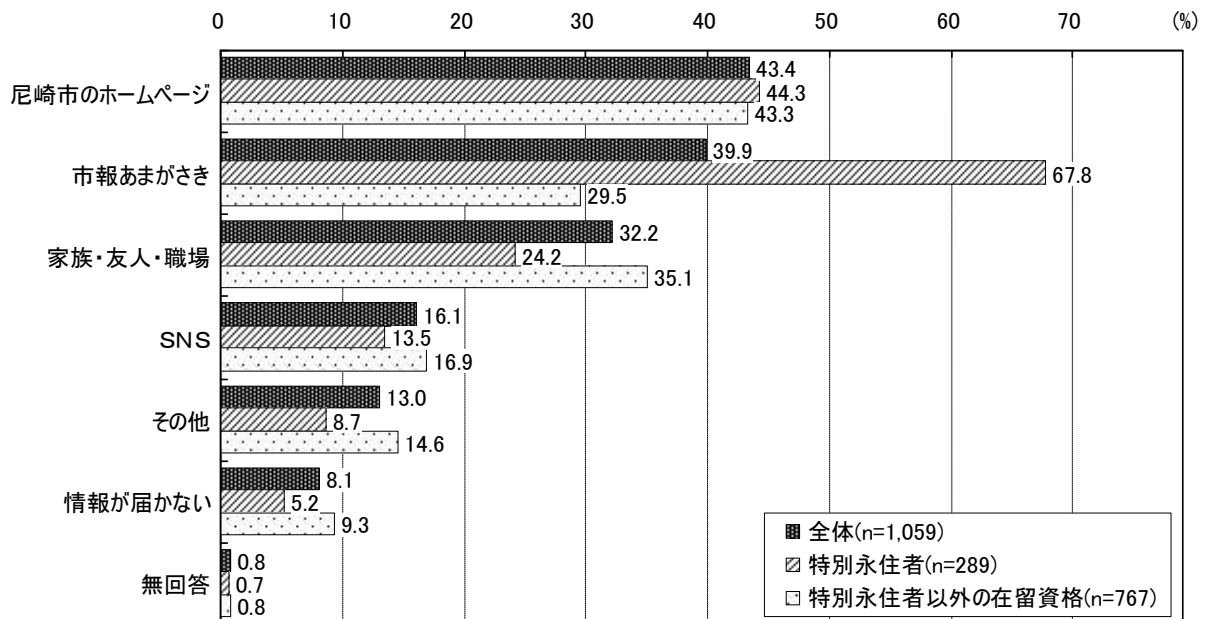
問5-7 あなたが知っている日本のルールやマナーを選んでください（複数選択可）



- 「ゴミを捨てる時は、決められた曜日や場所に捨てる」「夜遅くに大きな声や音を出さない」など、ほとんどの人が選択肢として掲げた日本のルールやマナーについて知っていると答えています。
- 在留資格別にみると、「借りた家や部屋には、契約した人や家族以外に住んではいけない」は特定技能、技能実習、家族滞在で、「自転車は駐輪場や決められた場所に停める」と「たばこは決められた場所（喫煙所）で吸う」は技能実習でやや少なくなっています。

④ 行政情報の入手方法

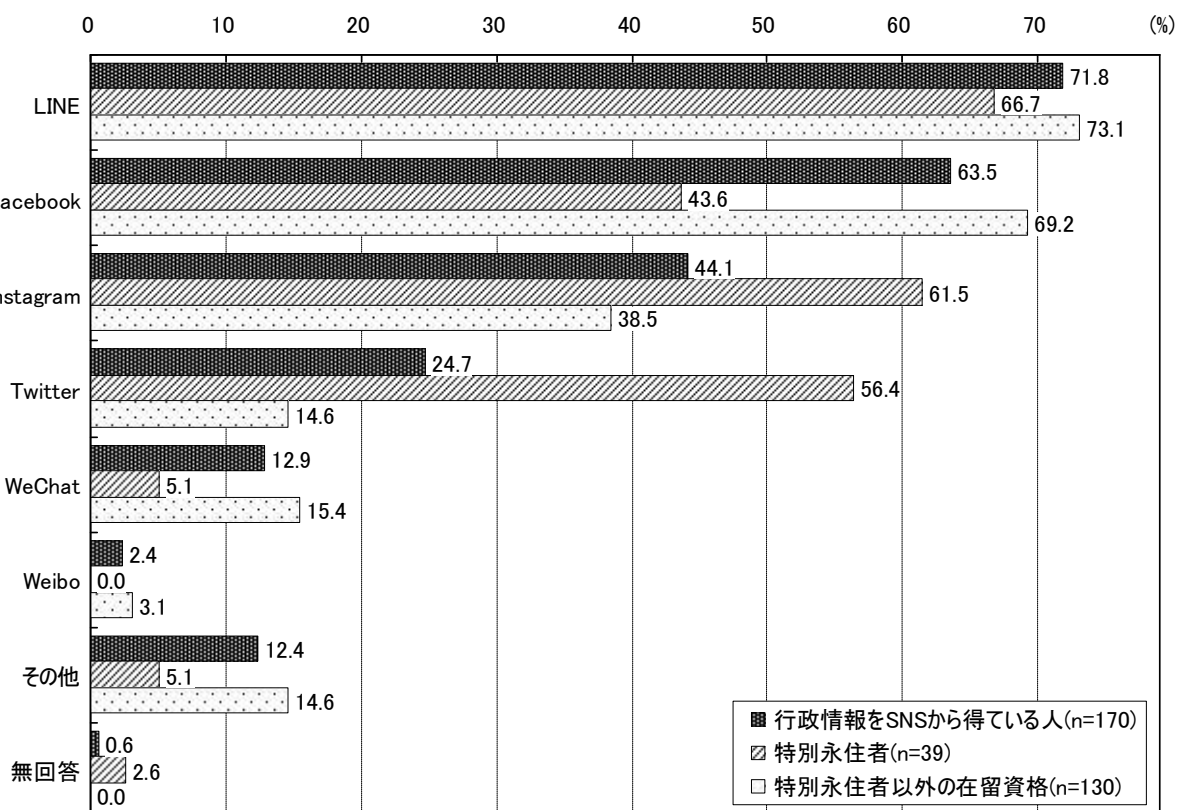
問10 行政（役所）からの情報は何かから得ていますか（複数選択可）



- 「尼崎市のホームページ」が43.4%と最も多く、次いで「市報あまがさき」が39.9%、「家族・友人・職場」が32.2%、「SNS」が16.1%の順となっています。また、「情報が届かない」という人は8.1%にとどまっています。

- 在留資格別にみると、特別永住者では「市報あまがさき」が67.8%と多く、特別永住者以外の在留資格の人では「家族・友人・職場」が35.1%となっています。
- 特別永住者以外の在留資格の人のうち、日本語の読解力別にみると、「生活するのに問題なく読める」など読解力が高い人は「尼崎市のホームページ」や「市報あまがさき」と答える人が多く、読解力が低いほど「家族・友人・職場」と答える人が多くみられます。

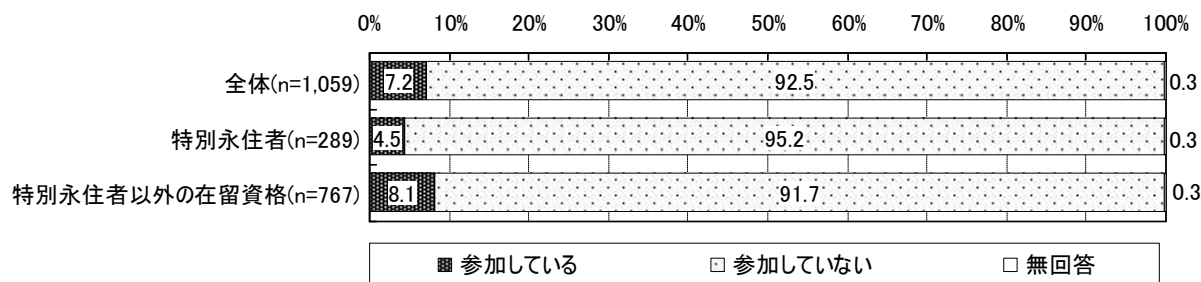
問10-1 よく使うSNSは何ですか（複数選択可）



- 行政情報の入手先としてSNSと答えた人によく使うものを尋ねたところ、「LINE」が71.8%と最も多く、次いで「Facebook」が63.5%、「Instagram」が44.1%、「Twitter」が24.7%の順となっています。
- 在留資格別にみると、特別永住者では「Instagram」や「Twitter」、特別永住者以外の在留資格の人では「Facebook」と答える人が多くみられます。

⑤ 外国人同士の交流について

問13 外国人の交流グループに参加していますか



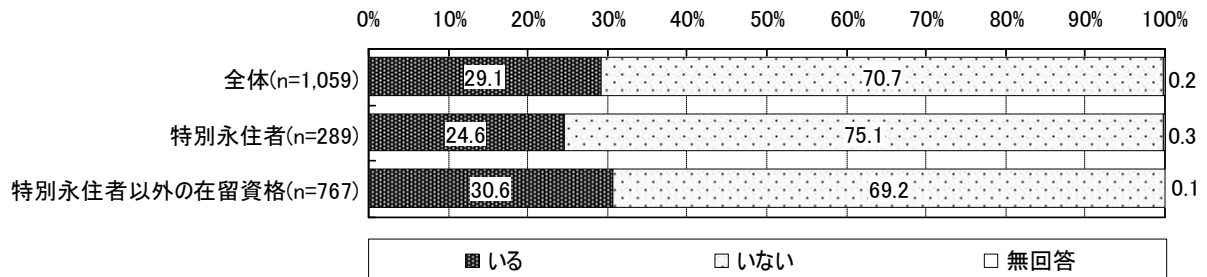
○外国人の交流グループに「参加している」という人は7.2%にとどまっています。

○国籍・地域別にみると、「参加している人の割合はインドネシアが15.8%、ネパールが13.0%、フィリピンが12.7%などやや多くみられます。

3 子どもや子育てについて

① 子どもの有無

問14 あなたには17歳より下の子どもがいますか



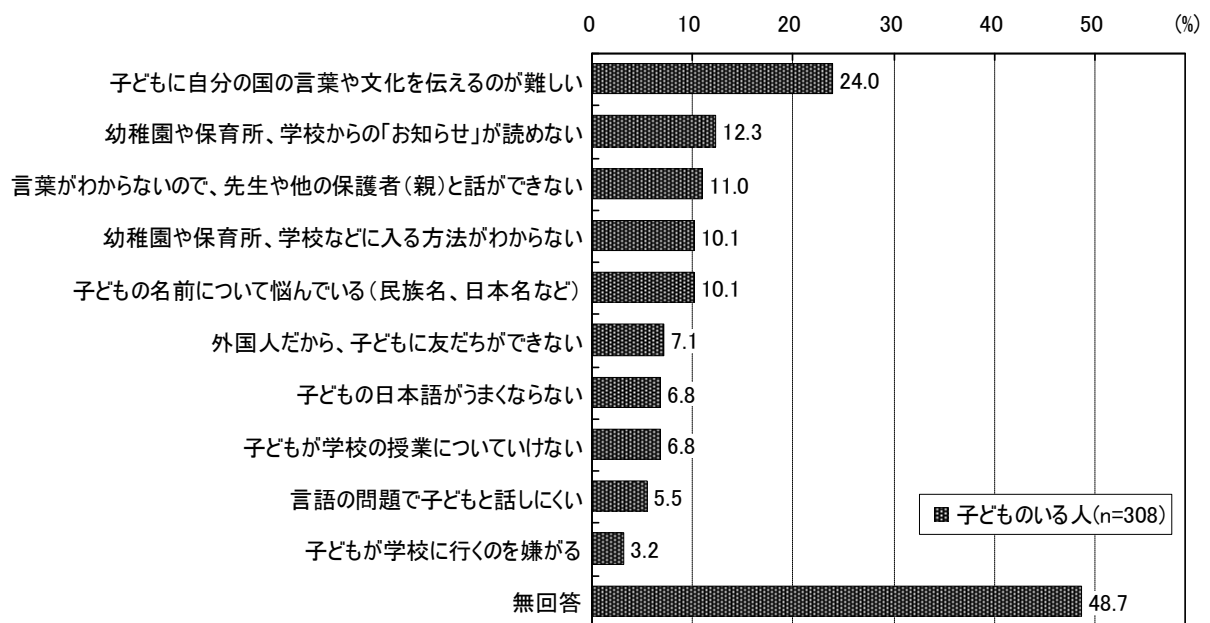
○17歳以下の子どもが「いる」人は29.1%となっています。

○国籍・地域別にみると、アメリカで40.7%、フィリピンで38.1%、中国で36.4%と多くみられます。

○年齢別にみると、40歳代で55.9%、30歳代で47.5%に子どもが「いる」と答えています。

② 子育ての悩みや困りごと

問15 子育てで悩んだり困っている（困った）ことは何ですか（複数回答可）



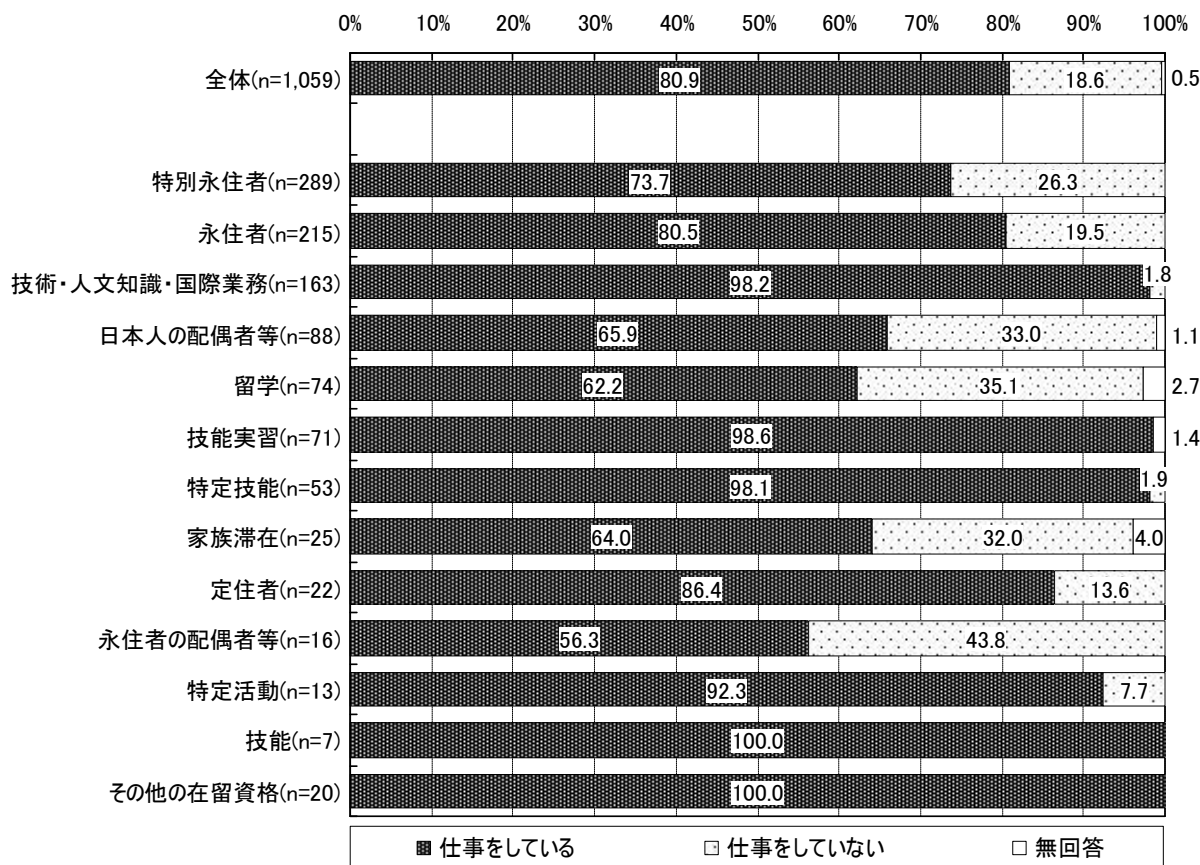
○「子どもに自分の国の言葉や文化を伝えるのが難しい」が24.0%と最も多く、次いで「幼稚園や保育所、学校からの「お知らせ」が読めない」が12.3%、「言葉がわからないので、先生や他の保護者（親）と話ができない」が11.0%、「幼稚園や保育所、学校などに入る方法がわからない」と「子どもの名前について悩んでいる（民族名、日本名など）」がそれぞれ10.1%となっています。

- 国籍・地域別にみると、ベトナムの人で「幼稚園や保育所、学校からの「お知らせ」が読めない」「幼稚園や保育所、学校などに入る方法がわからない」「子どもの名前について悩んでいる（民族名、日本名など）」「子どもの日本語がうまくならない」と答える人が多くみられます。
- 在留資格別にみると、「幼稚園や保育所、学校からの「お知らせ」が読めない」はその他の在留資格や技能実習で、「幼稚園や保育所、学校などに入る方法がわからない」は特定技能や技術・人文知識・国際業務でそれぞれ多くみられます。
- 特別永住者以外の在留資格の人のうち、日本語の読解力別にみると、「ほとんど読めない」「ひらがな、カタカナならわかる」など読解力が低いほど、言葉の問題で多くの課題を抱えていることがわかります。

4 仕事について

① 就労状況

問16 あなたは仕事をしていますか

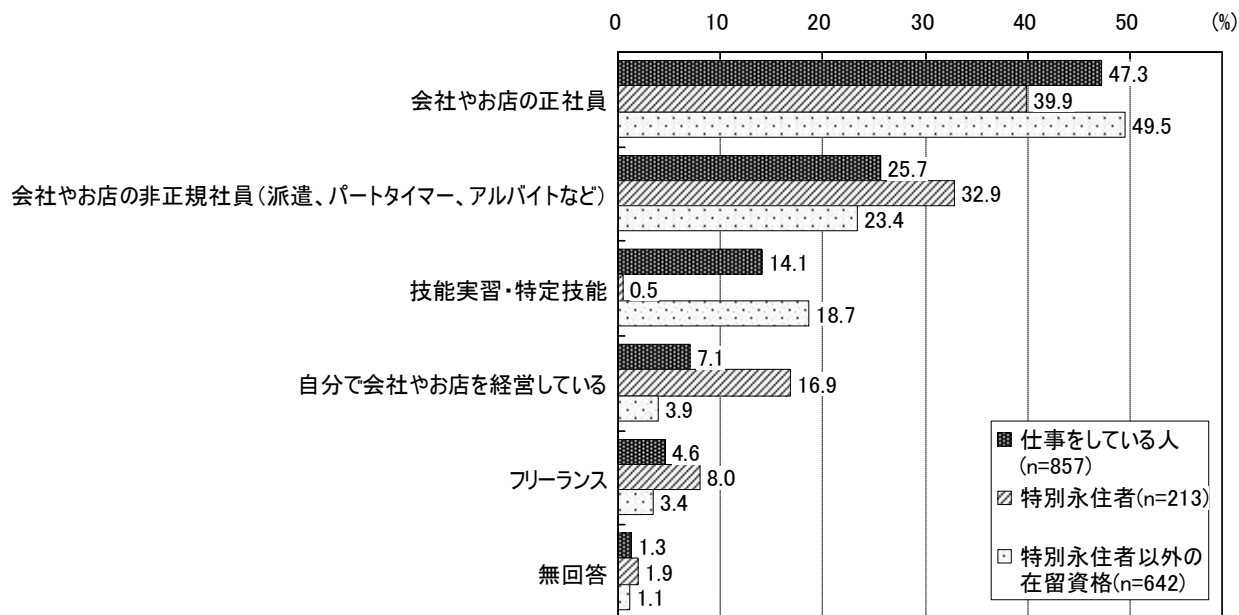


○「仕事をしている」人は80.9%で、在留資格別にみると、技能実習や技術・人文知識・国際業務、特定技能、特定活動、技能、その他の在留資格でほぼ全員が「仕事をしている」と答えています。「仕事をしていない」人が比較的多いのは永住者の配偶者等や留学、日本人の配偶者等、家族滞在などとなっています。

○年齢別にみると、50歳代までは80%以上が働いていますが、60歳以上では54.7%となっています。

② 就労形態

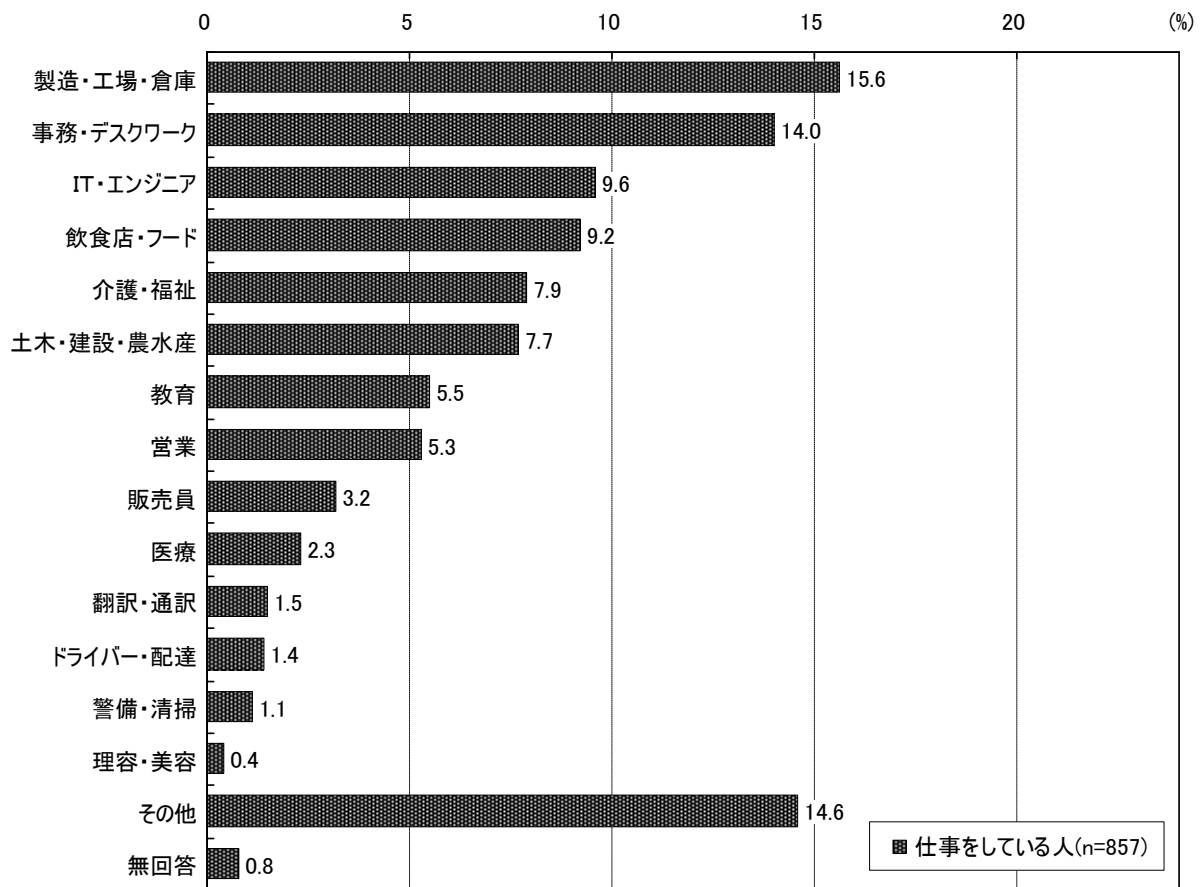
問16-2 あなたの働き方を教えてください



- 「会社やお店の正社員」が47.3%と最も多く、次いで「会社やお店の非正規社員（派遣、パートタイマー、アルバイトなど）」が25.7%、「技能実習・特定技能」が14.1%、「自分で会社やお店を営んでいる」が7.1%、「フリーランス」が4.6%となっています。
- 在留資格別にみると、「会社やお店の正社員」と「技能実習・特定技能」は特別永住者以外の在留資格の人、「会社やお店の非正規社員（派遣、パートタイマー、アルバイトなど）」と「自分で会社やお店を営んでいる」は特別永住者で多くみられます。
- 国籍・地域別にみると、「会社やお店の正社員」はブラジルやアメリカ、「会社やお店の非正規社員（派遣、パートタイマー、アルバイトなど）」はネパール、「技能実習・特定技能」はインドネシアやベトナム、「自分で会社やお店を営んでいる」は韓国・朝鮮、「フリーランス」はアメリカでそれぞれ多くみられます。

③ 仕事の内容

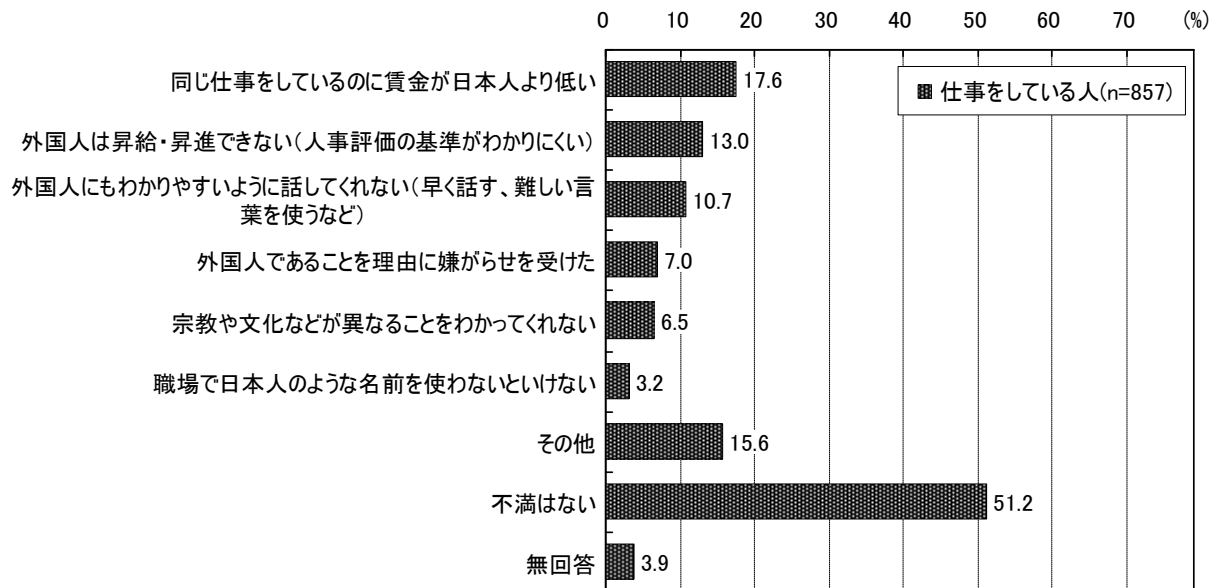
問17 どのような仕事をしていますか



- 「製造・工場・倉庫」が15.6%と最も多く、次いで「事務・デスクワーク」が14.0%、「IT・エンジニア」が9.6%、「飲食店・フード」が9.2%、「介護・福祉」が7.9%、「土木・建設・農水産」が7.7%などの順となっています。
- 国籍・地域別にみると、「製造・工場・倉庫」はブラジルやフィリピン、ベトナムで、「事務・デスクワーク」は台湾で、「飲食店・フード」はネパールで、「介護・福祉」はインドネシアやフィリピンで、「土木・建設・農水産」はベトナムで、「教育」はアメリカでそれぞれ多くみられます。
- 在留資格別にみると、「製造・工場・倉庫」は家族滞在や技能実習で、「IT・エンジニア」は技術・人文知識・国際業務で、「飲食店・フード」は家族滞在や留学で、「介護・福祉」は特定技能で、「土木・建設・農水産」は技能実習でそれぞれ多くみられます。
- 特別永住者以外の在留資格の人のうち、日本語の会話別にみると、「製造・工場・倉庫」で単語だけはわかる、「飲食店・フード」や「土木・建設・農水産」や「警備・清掃」でほとんどできないと答える人が多くみられます。

④ 仕事をして不満に思うこと

問18 仕事をしていて不満に思ったことはありますか（複数回答可）

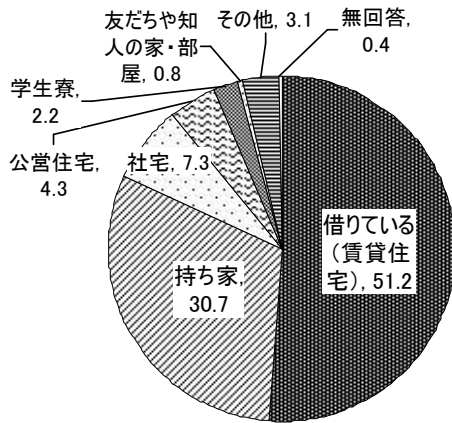


- 「不満はない」と「無回答」を除いて、仕事をしている人の44.9%が何らかの不満を抱いており、内容別には「同じ仕事をしているのに賃金が日本人より低い」が17.6%、「外国人は昇給・昇進できない（人事評価の基準がわかりにくい）」が13.0%、「外国人にもわかりやすいように話してくれない（早く話す、難しい言葉を使うなど）」が10.7%などとなっています。
- 国籍・地域別にみると、「同じ仕事をしているのに賃金が日本人より低い」はベトナムやタイで、「外国人は昇給・昇進できない」はベトナムやタイ、アメリカで、「外国人にもわかりやすいように話してくれない」はタイで、「外国人であることを理由に嫌がらせを受けた」と「宗教や文化などが異なることをわかってくれない」はアメリカで、「不満はない」はネパールや韓国・朝鮮でそれぞれ多くみられます。
- 在留資格別にみると、「同じ仕事をしているのに賃金が日本人より低い」は技能実習や特定技能で、「外国人は昇給・昇進できない」は技術・人文知識・国際業務や技能実習で、「外国人にもわかりやすいように話してくれない」は特定技能でそれぞれ多くみられます。

5 住んでいる場所（家や部屋）について

① 住居形態

問20 今、住んでいる家や部屋は次のどれですか



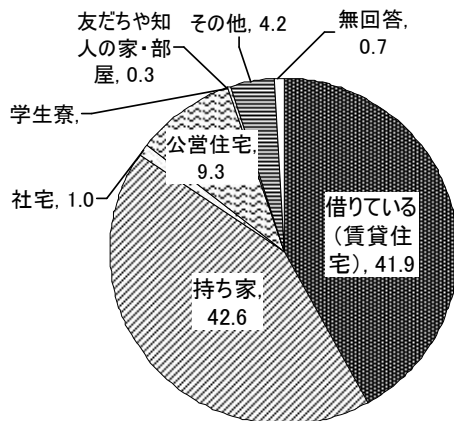
(n=1,059)

○「借りている（賃貸住宅）」が51.2%、「持ち家」が30.7%、「社宅」が7.3%、「公営住宅」が4.3%などとなっています。

○在留資格別にみると、特別永住者では「持ち家」が42.6%、特別永住者以外の在留資格の人では「借りている（賃貸住宅）」が54.6%と多くみられます。

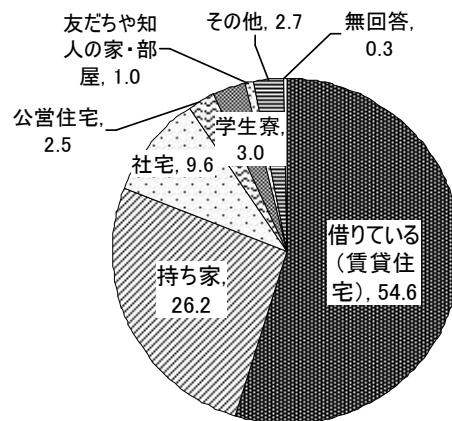
○尼崎市市内での居住年数別にみると、居住歴が長いほど「持ち家」と答える人

《特別永住者》



(n=289)

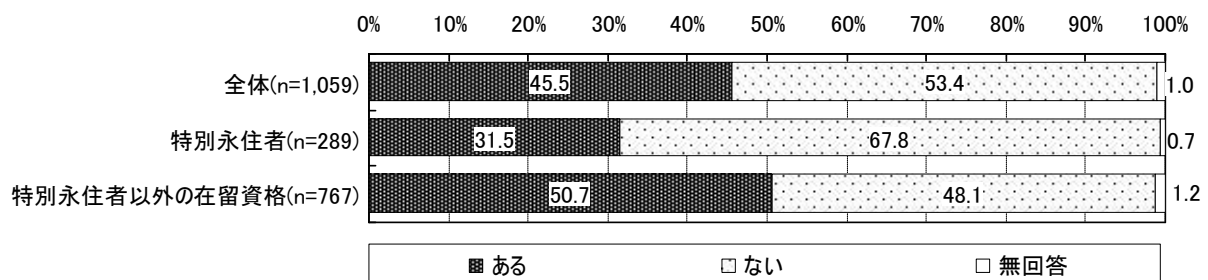
《特別永住者以外の在留資格》



(n=767)

② 住まいを探した経験

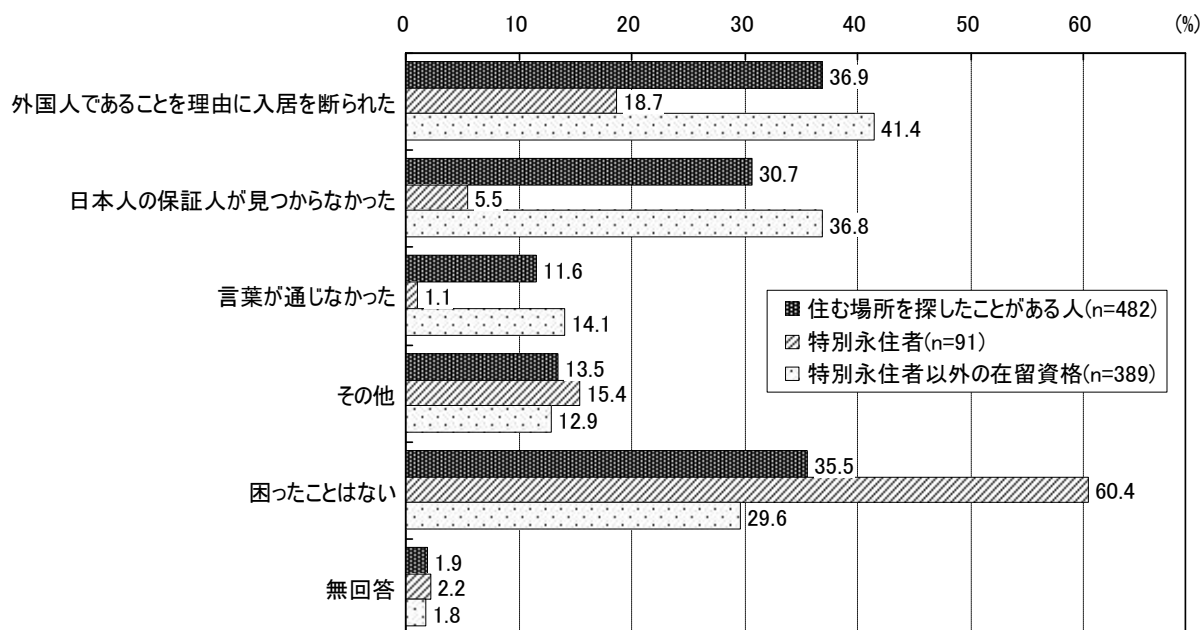
問23 これまで5年の間に、日本で住む場所を探した経験はありますか



- 住まいを探した経験が「ある」人は45.5%で、在留資格別にみると、特別永住者以外の在留資格の人で50.7%となっています。
- 尼崎市内での居住年数別にみると、1年から5年の人で64.0%と多く、居住地区別には園田地区や中央地区でやや多くなっています。

③ 住まいを探す時に困ったこと

問23-1 住む場所を探す時に困ったことはありますか（複数回答可）

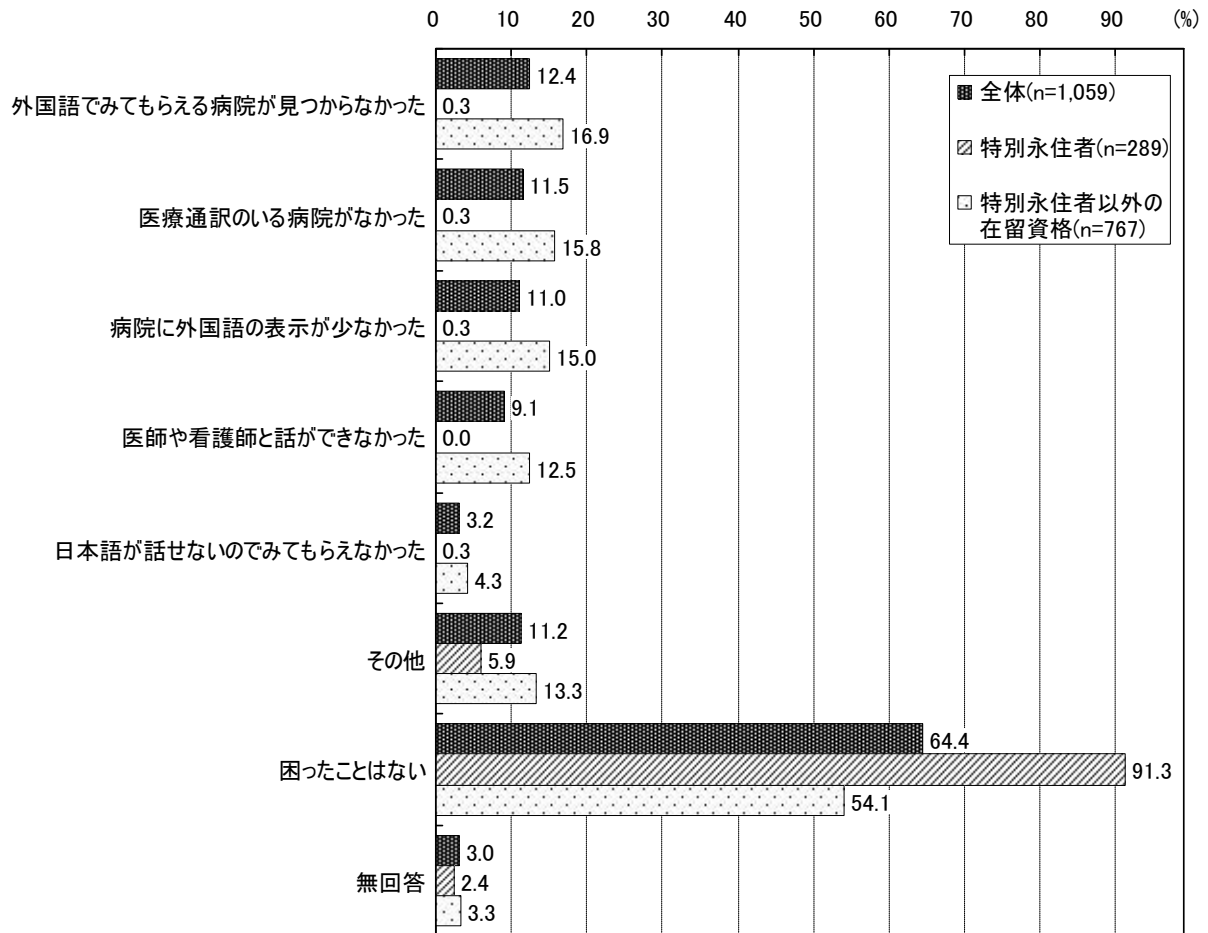


- 「困ったことはない」と「無回答」を除いて、住まいを探したことがある人のうち62.6%が何らかの困ったことがあったと答えており、内容別には「外国人であることを理由に入居を断られた」が36.9%、「日本人の保証人が見つからなかった」が30.7%となっています。
- 在留資格別にみると、特別永住者については「困ったことはない」という人が60.4%と多く、特別永住者以外の在留資格の人では「外国人であることを理由に入居を断られた」「日本人の保証人が見つからなかった」「言葉が通じなかった」と答える人が多くみられます。
- 国籍・地域別にみると、「外国人であることを理由に入居を断られた」はネパールやアメリカ、ベトナムで、「日本人の保証人が見つからなかった」は台湾やネパール、ベトナムで、「言葉が通じなかった」はネパールやベトナム、アメリカで多くみられます。
- 居住地域別にみると、立花地区で「外国人であることを理由に入居を断られた」が47.4%、小田地区で「困ったことはない」が51.2%と多くみられます。
- 特別永住者以外の在留資格の人のうち、日本語の読解力別にみると、「ほとんど読めない」など読解力が低いほど「言葉が通じなかった」と答える人が多くみられます。

6 病院や保険制度について

① 病気になった時に困ったこと

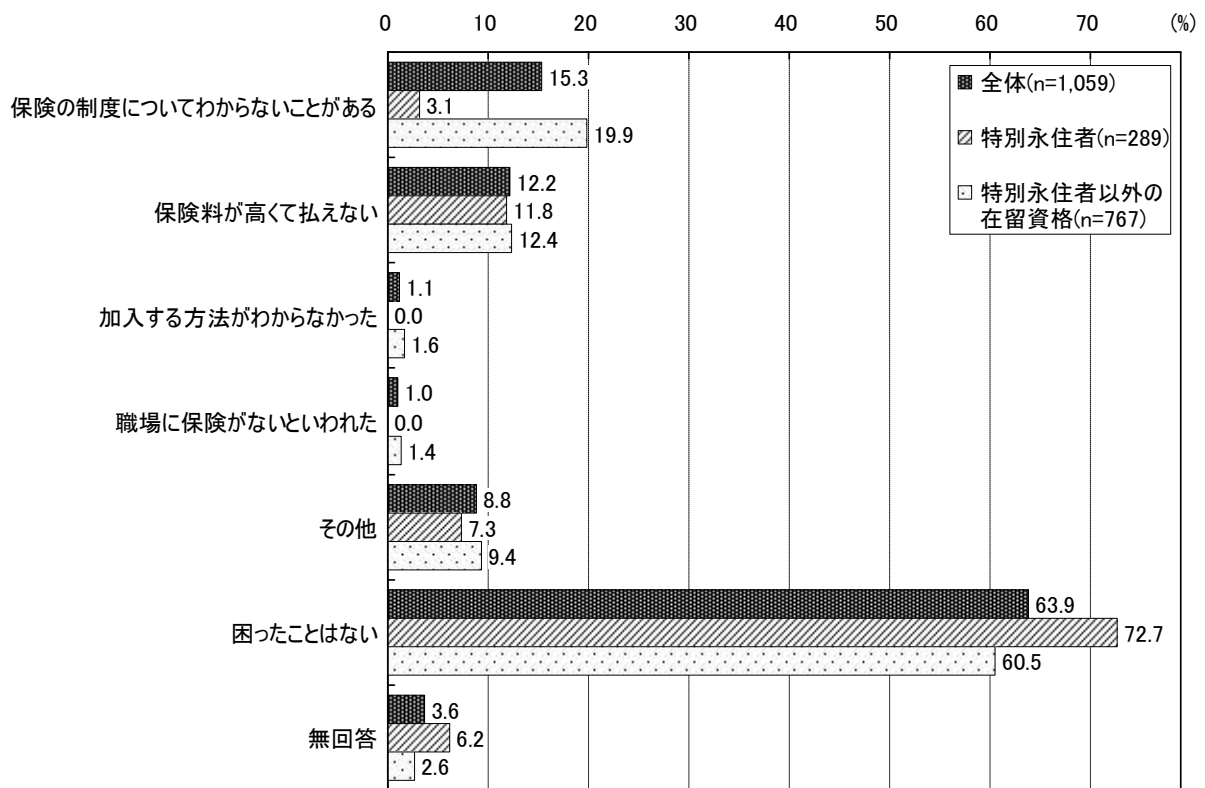
問24 あなたやあなたの家族が病気になった時に、困ったことはありますか（複数回答可）



- 「困ったことはない」と「無回答」を除いて、回答者の32.6%が何らかの困ったことがあったと答えており、内容別には「外国語でみてもらえる病院が見つからなかった」が12.4%、「医療通訳のいる病院がなかった」が11.5%、「病院に外国語の表示が少なかった」が11.0%、「医師や看護師と話ができなかった」が9.1%などとなっています。
- 在留資格別にみると、特別永住者で困ったことをあげる人はほとんどなく、各選択肢とも特別永住者以外の在留資格の人による回答となっています。

② 医療保険制度で困ったこと

問26 医療保険制度について困ったことはありますか（複数回答可）



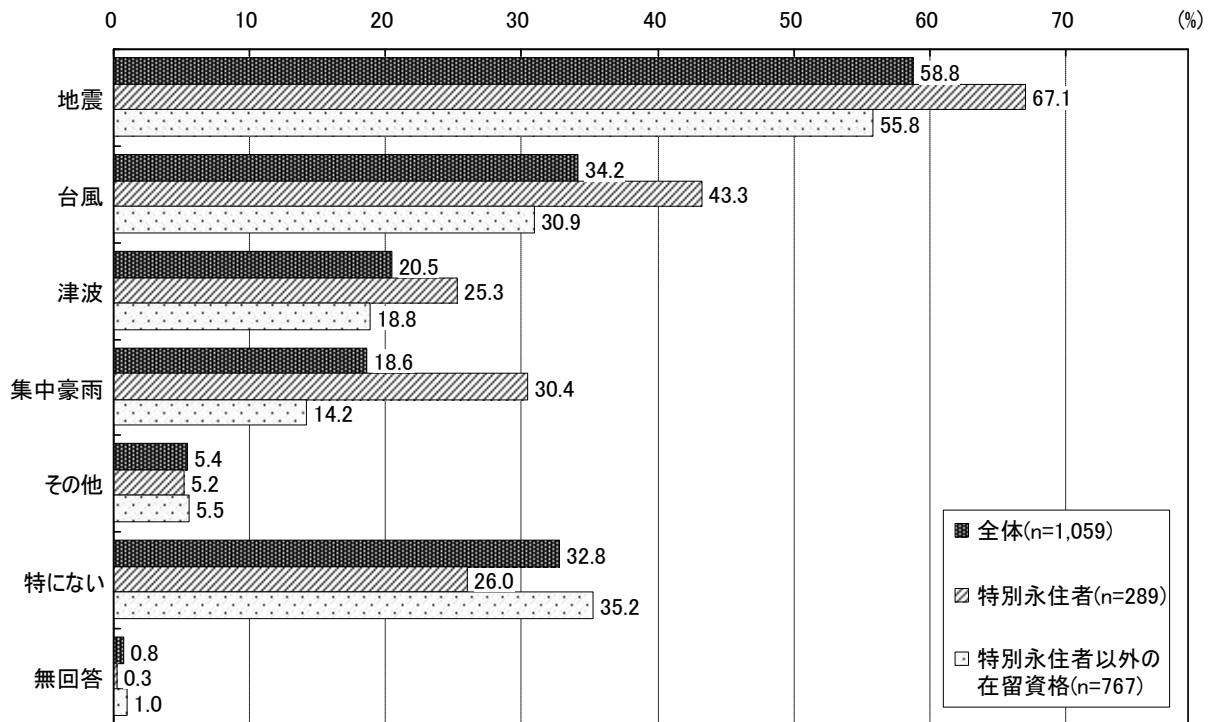
○「困ったことはない」と「無回答」を除いて、回答者の32.5%が何らかの困ったことがあったと答えており、内容別には「保険の制度についてわからないことがある」が15.3%、「保険料が高くて払えない」が12.2%となっています。

○国籍・地域別にみると、「保険の制度についてわからないことがある」はアメリカやベトナム、タイで多くみられます。

7 防災（災害への備え）について

① 不安に感じる災害

問27 あなたが住んでいる場所で不安に感じる災害はありますか（複数回答可）



○「特にない」と「無回答」を除いて、回答者の66.4%が何らかの災害に不安を感じており、内容別には「地震」が58.8%と最も多く、次いで「台風」が34.2%、「津波」が20.5%、「集中豪雨」が18.6%となっています。

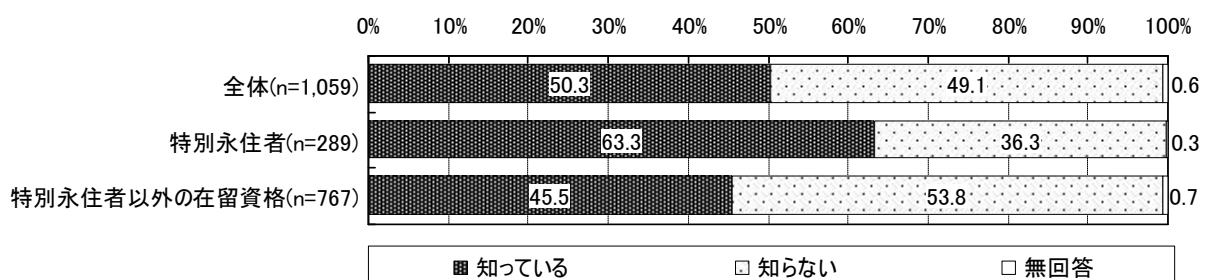
○居住地域別にみると、立花地区で「地震」が70.7%と特に多くみられます。

○年齢別にみると、「地震」「台風」「集中豪雨」は年齢が高くなるほど多くみられます。

○国籍・地域別にみると、「地震」はアメリカやタイ、フィリピンで、「台風」はブラジルやタイ、インドネシアで、「津波」はタイでそれぞれ多くみられます。

② 避難所の周知度

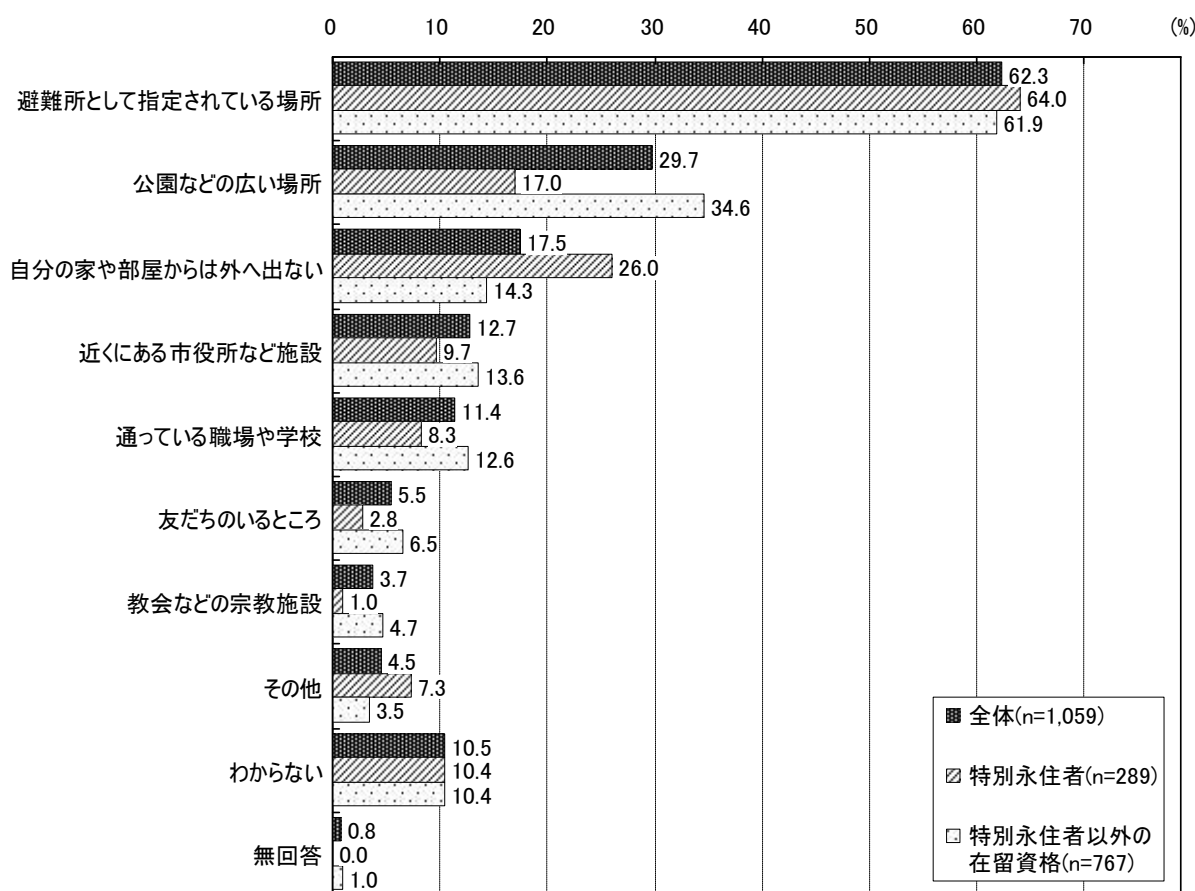
問28 避難所を知っていますか



- 避難所を「知っている」人は50.3%、「知らない」人が49.1%となっています。
- 在留資格別にみると、特別永住者は「知っている」が63.3%、特別永住者以外の在留資格の人は「知らない」が53.8%となっています。
- 国籍・地域別にみると、「知らない」人が多いのはネパールやベトナム、インドネシアなどとなっています。また、尼崎市市内での居住年数別にみると、居住歴が長いほど「知っている」人が多くみられます。

③ 災害時の避難先

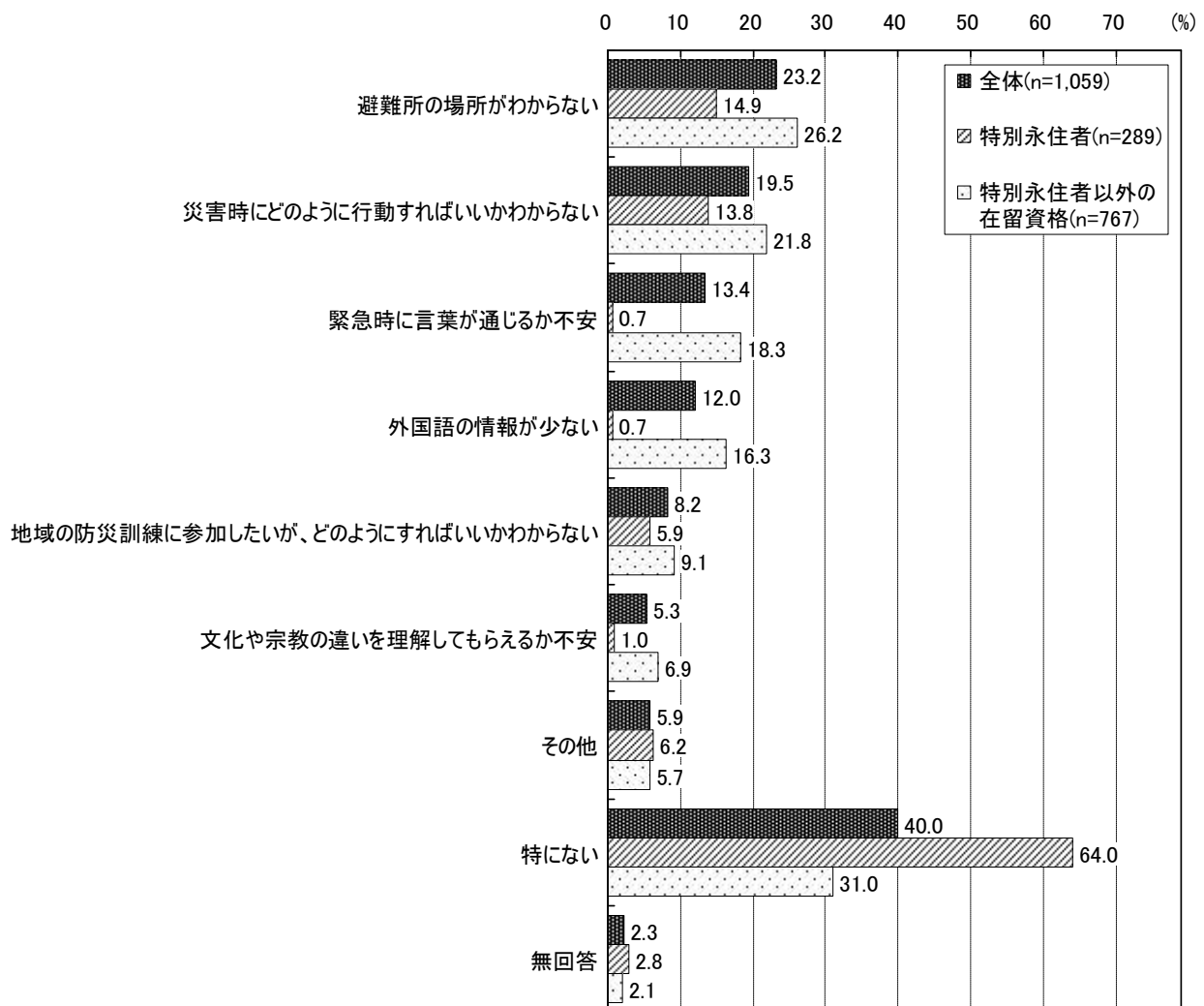
問29 あなたは災害のために避難が必要なときにどこに行きますか（複数回答可）



- 「避難所として指定されている場所」が62.3%と最も多く、次いで「公園などの広い場所」が29.7%、「自分の家や部屋からは外へ出ない」が17.5%、「近くにある市役所など施設」が12.7%、「通っている職場や学校」が11.4%などとなっています。
- 国籍・地域別にみると、「避難所として指定されている場所」は台湾で、「公園などの広い場所」はネパールや中国、タイで、「近くにある市役所など施設」はインドネシアやフィリピンでそれぞれ多くみられます。
- 居住地域別にみると、小田地区で「避難所として指定されている場所」が76.2%と特に多くみられます。
- 避難所の周知度別にみると、避難所を知っている人は85.4%が「避難所として指定されている場所」と答えており、知らない人の39.2%を大きく上回っています。

④ 防災に関して困ったり不安に感じること

問31 防災に関して困っていることや不安に感じることはありますか（複数回答可）

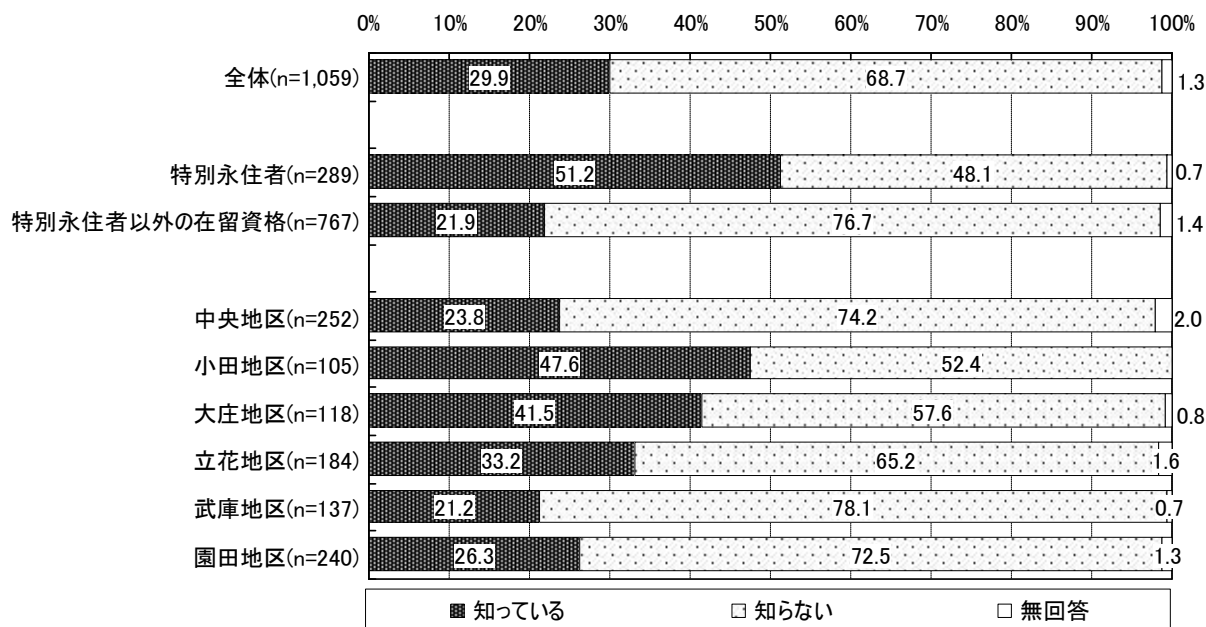


- 「特にない」と「無回答」を除いて、回答者の57.7%が何らかの内容で困ったり不安を感じており、内容別には「避難所の場所がわからない」が23.2%、「災害時にどのように行動すればいいかわからない」が19.5%、「緊急時に言葉が通じるか不安」が13.4%、「外国語の情報が少ない」が12.0%などとなっています。
- 国籍・地域別にみると、「避難所の場所がわからない」はネパールやベトナム、インドネシアで、「災害時にどのように行動すればいいかわからない」は台湾やアメリカで、「緊急時に言葉が通じるか不安」はフィリピンやタイで、「外国語の情報が少ない」はインドネシアやブラジル、アメリカ、フィリピンで、「地域の防災訓練に参加したいが、どのようにすればいいかわからない」はアメリカで、「特にない」は韓国・朝鮮でそれぞれ多くみられます。
- 避難所の周知度別にみると、避難所を知らない人で「避難所の場所がわからない」が45.0%、「災害時にどのように行動すればいいかわからない」が26.3%と答えており、知っている人の割合を大きく上回っています。

8 住んでいる地域のことについて

① 自治会の周知度

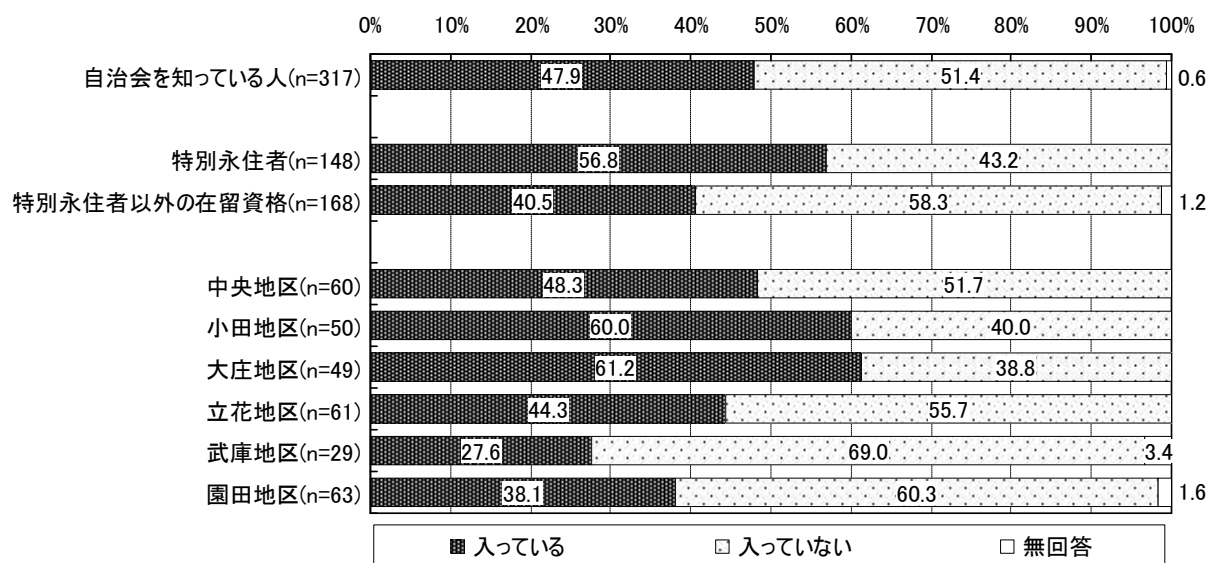
問32 自治会を知っていますか



- 自治会を「知っている」人は29.9%、「知らない」人は68.7%となっています。
- 在留資格別にみると、特別永住者は「知っている」が51.2%であるのに対し、特別永住者以外の在留資格の人は21.9%にとどまっています。
- 国籍・地域別にみると、「知っている」が多いのは韓国・朝鮮や台湾など、「知らない」が多いのはベトナムやネパール、インドネシア、アメリカなどとなっています。
- 尼崎市市内での居住年数別にみると、居住歴が長いほど「知っている」が多くみられます。
- 居住地域別にみると、小田地区や大庄地区で「知っている」が多くみられます。

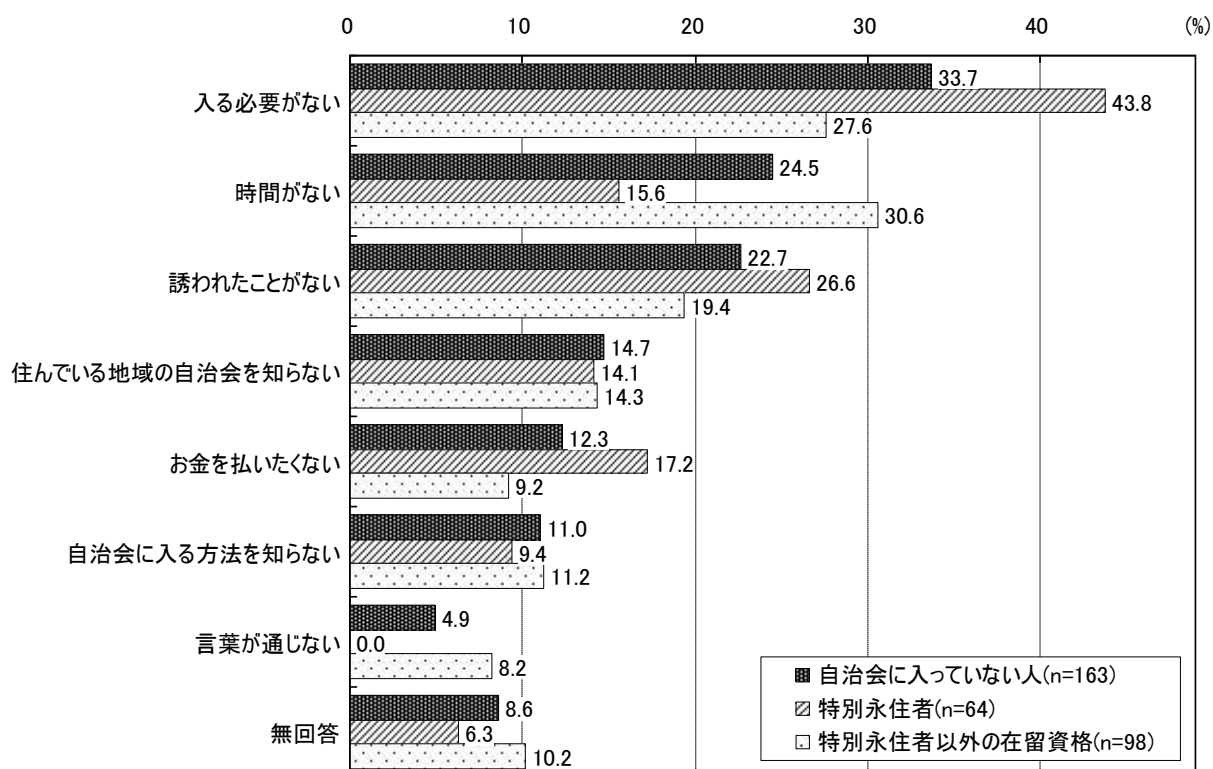
② 自治会への加入状況

問32-1 自治会に入っていますか



- 自治会を知っている人のうち、自治会に「入っている」人は47.9%となっています。
- 在留資格別にみると、「入っている」人は特別永住者の56.8%、特別永住者以外の在留資格の人の40.5%となっています。
- 尼崎市市内での居住年数別にみると、居住年数1年以降については居住歴が長いほど「入っている」人は増える傾向にあります。
- 居住地域別にみると、大庄地区と小田地区で「入っている」人が多くみられます。

問32-1-2 自治会に入っていない理由は何ですか（複数回答可）

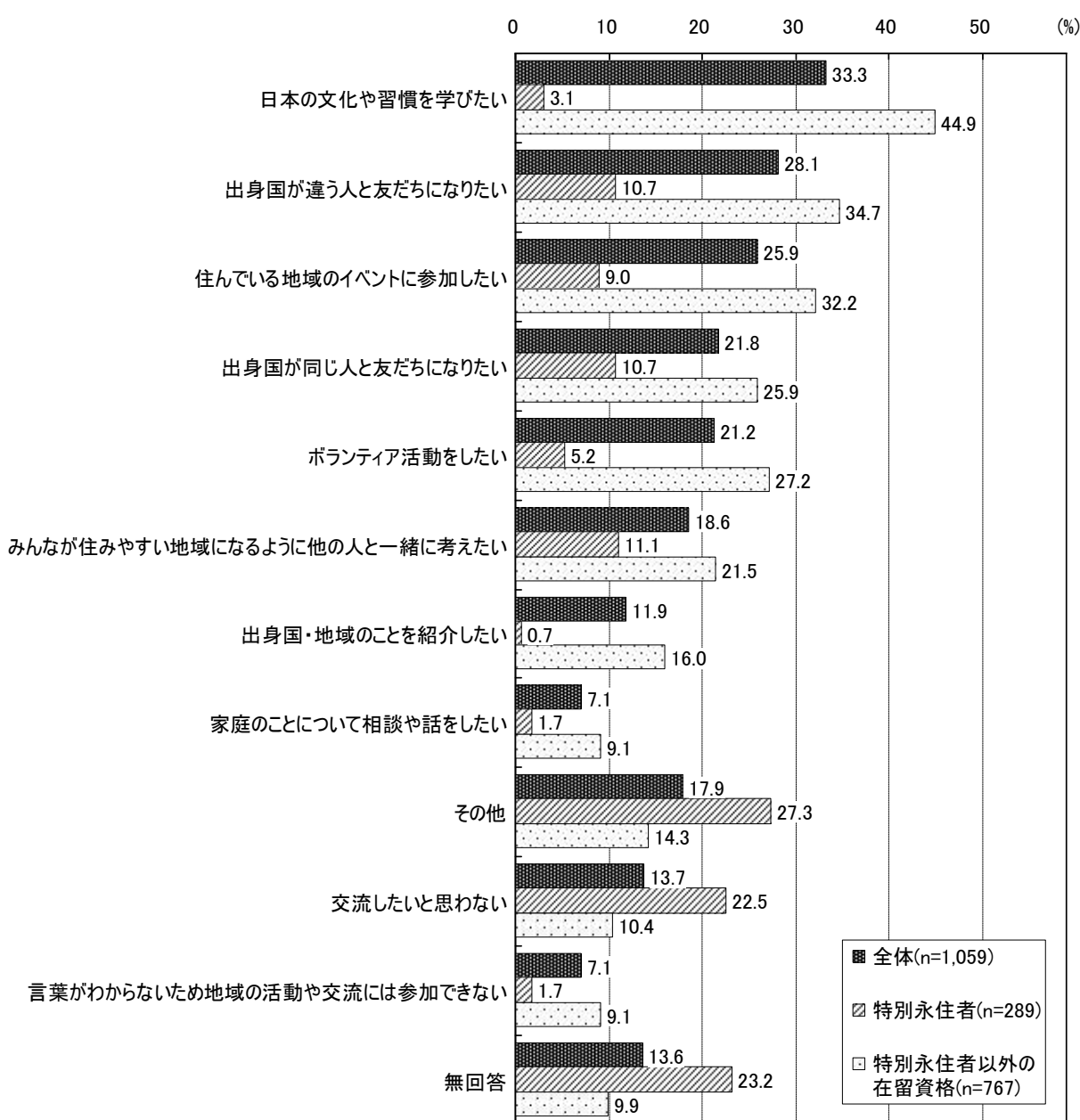


○自治会を知っているが入っていない人にその理由を尋ねたところ、「入る必要がない」が33.7%と最も多く、特別永住者では43.8%となっています。

○これに次いで「時間がない」が24.5%、「誘われたことがない」が22.7%、「住んでいる地域の自治会を知らない」が14.7%、「お金を払いたくない」が12.3%となっており、「時間がない」は特別永住者以外の在留資格の人で、「誘われたことがない」と「お金を払いたくない」は特別永住者でそれぞれ多くみられます。

③ 地域活動や交流についての意識

問33 住んでいる地域で行われている活動や日本人・外国人との交流についてどう思いますか（複数回答可）



- 「交流したいと思わない」「言葉がわからないため地域の活動や交流には参加できない」と「無回答」を除いて、地域で行われている活動や日本人・外国人との交流について回答者の65.6%が関心を示しており、内容別には「日本の文化や習慣を学びたい」が33.3%、「出身国が違う人と友だちになりたい」が28.1%、「住んでいる地域のイベントに参加したい」が25.9%、「出身国が同じ人と友だちになりたい」が21.8%、「ボランティア活動をしたい」が21.2%などとなっています。
- 特別永住者については「その他」や「交流したいと思わない」、「無回答」が多くなっています。
- 国籍・地域別にみると、「日本の文化や習慣を学びたい」はネパールやインドネシア、ベトナム、アメリカ、ブラジルなどで、「出身国が違う人と友だちになりたい」はネパールやアメリカ、インドネシアなどで、「住んでいる地域のイベントに参加したい」はネパールやアメリカなどでそれぞれ多くみられるなど、ネパールやアメリカ、インドネシア、フィリピン、タイの人で様々な活動・交流に関心を持つ人が多くなっています。

尼崎市外国人生活実態アンケート調査 報告書 概要版

2023年(令和5年)3月

<編集・発行>

尼崎市 総合政策局 文化・人権担当 ダイバーシティ推進課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話：06-6489-6658／ファックス：06-6489-6661

E-mail：ama-welcome@city.amagasaki.hyogo.jp
